



じょうもんじだい こがねい  
縄文時代の小金井



ぬくいせき はくつ じょうもん とき  
貫井遺跡で発掘された縄文土器

ねえ、「<sup>じょうもんじだい</sup>縄文時代<sup>し</sup>」って知ってる？<sup>こがねいし</sup>小金井市から  
は、その時代<sup>じだい</sup>の遺跡<sup>いせき</sup>がたくさん出てくるみたい。  
<sup>とき</sup>土器<sup>どくう</sup>や土偶<sup>み</sup>、アクセサリー<sup>み</sup>なんかも見つかってる  
んだって！！<sup>ひと</sup>いったいどんな人たちが、<sup>ひと</sup>どんなく  
らしをしていたのかなあ。。

<sup>おおむかし</sup>大昔<sup>こがねい</sup>の小金井<sup>ひと</sup>にいた人たちが、<sup>じつ</sup>実はいまの  
<sup>じぶん</sup>自分とつながっているとしたら？<sup>なんだか</sup>なんだか  
わくわくしてくるよね♪<sup>いろいろ</sup>色々な方向<sup>ほうこう</sup>から、  
<sup>じょうもんじだい</sup>縄文時代のナゾ<sup>せま</sup>に迫ってみよう！

ミドリちゃん



ぶっく

## じょうもんじだい 縄文時代とは…

じょうもんじだい  
縄文時代とは、はるか昔の今から約1万5千年前から約2200年前  
までの時代のことです。「縄文時代」という名前は、遺跡から見つかる土器  
に、「縄」目の「文」様がついていることにちなんでいます。

## じょうもんじだい しぜんかんきょう 縄文時代の自然環境について…

じょうもんじだい  
縄文時代のはじめのころは今よりも寒かったのですが、時代が進むとと  
もにどんどんあたたかくなっていきました。約6千年前には現在の平均気温  
よりも2～4度ほど気温が高かったそうです。あたたかくなったことで、豊  
かな森が増えて、木の実などの食べものが手に入れやすくなり  
ました。そうしたゆとりある生活環境が、様々な道具の変化  
をもたらしたと言えるでしょう。



## じょうもんじん せいかつ 縄文人はどんな生活をしていたの？



せいかつ  
それまでのキャンプ生活だった時代とは違  
い、縄文人たちは同じ場所に住み続ける  
“定住”をはじめました。人々は主に縦穴式  
住居と呼ばれる家に住み、何軒かで集まって、  
助け合いながら生活していました。

おも た  
主な食べものは植物で、森で採れるドングリ、豆、イモ、ナッツなどを食  
べていました。時には弓矢や落とし穴で動物をつかまえたり、釣り竿やあみ  
で魚や貝を獲ったりすることもありました。また、食べ物を採るだけでな  
く、自分たちでクリなどを栽培していたこともわかっています。収穫した  
食べものは、土器を土鍋のように使って煮炊きしたり、手を加えて保存食に  
したりしていたようです。

# こがねいし じょうもんいせき どうして小金井市には縄文遺跡がたくさんあるの？

市の南部には、国分寺崖線とよばれるがけがあり、市の北と南で大きな段差があるのが特徴です。がけの下にはきれいな水がコンコンとわきだす場所（はけ）があちらこちらにあり、水を求めて人が集まりました。はけの水辺にあつまる動物や植物も多かったことでしょう。特に見晴らしがよい高台からはたくさんの住居跡が見つかっています。

## こがねいし はくつ 小金井市ではどんなものが発掘されているの？

### ☆その1…縄文土器（中山谷遺跡、貫井遺跡など）

煮炊きや保存のための道具。底が深いもの・浅いものから、大きいもの・小さいものまで、色々な形のものがあります。縄目模様のほか、動物や植物をイメージした模様の土器も多く、模様には様々な願いがこめられています。中山谷遺跡や貫井遺跡を中心に各地からたくさんの土器が見つかっています。



なんの模様に見える？

### ☆その2…土偶（野川中洲北遺跡）

土でできた人形のこと。女性の体に似せて作られており、祈りの儀式で使われていたようです。時期や地域によって形は様々で、人型のものもあれば、動物や宇宙人のように見えるものも作られました。野川中洲北遺跡では「筒形土偶」と呼ばれるタイプの土偶の顔が見つかっています。



からだはどこ？

### ☆その3…アクセサリー（貫井遺跡、貫井南遺跡など）

縄文人は石や土、動物の骨などで作った首かざりや耳かざりを身に着けることもありました。魔よけや自分をアピールするシンボルの意味、もちろんおしゃれとしても身に付けていたのでしょう。小金井では採れないヒスイとかたい宝石で作られたものが貫井遺跡で見つかり、遠くの場所との物のやりとりがあったことを物語っています。



にいがた  
新潟産まれの  
ヒスイです



# 結局、縄文人ってどんな人たちだったの？

芸術性の高い土器や面白い形の土偶を作る、植物を育てる、アクセサリーを身に付けておしゃれをする、犬を飼う、ゴミのリサイクルなど、発見された証拠からは、現代人と通じる一面が見えてきます。「縄文人＝原始的な生活」ではなく、いまを生きる私たちとなにも変わらない「心」を持って、楽しんだり悩んだりしながら、毎日を過ごしていたのかもしれないね。

最近の研究によると、多くの日本人が持つ遺伝子の10～20%が縄文人から受け継いだものなんだって。1万年以上前の人たちの生きた証がみんなの中にも残ってるなんて、なんだかステキだね！！



## 縄文時代のことをもっとよく知るために・・・

縄文時代のことや小金井市での発掘調査の成果などについてくわしく知ることができる本やホームページを紹介します。縄文人たちの生活や文化をもっと深ぼりして、「日本人」のルーツに迫ってみませんか？

★おすすめの**本**や**ホームページ** ※リストにある本は図書館でみる／かりることができます。

書名	著者（编者）名	出版者	出版年
おもしろ謎解き『縄文』のヒミツ 1万3000年続いたオドロキの歴史	こんだあきこ&スリアキコ／著 武藤康弘／監修	小学館	2018
学習まんが日本の歴史1 日本のあけぼの 旧石器・縄文・弥生・古墳時代	設楽博己／監修	集英社	2016
縄文人のくらし大研究 衣食住と心さぐろう！	岡崎務／著 小薬一夫／監修	PHP研究所	2014
わくわく！探検 れきはく 日本の歴史1 先史・古代	国立歴史民俗博物館／編	吉川弘文館	2019
遺跡から調べよう！1 旧石器・縄文時代	設楽博己	童心社	2013
市文化財ブックレット2 発掘された小金井	小金井市生涯学習課／編	小金井市	2023
小金井市史資料編 考古・中世	小金井市史編さん委員会／編	小金井市	2019
小金井市ホームページ（文化財のページ）	<a href="http://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/index.html">http://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/index.html</a>		

こちらのQRコードから、小金井市の文化財のことがわかるホームページにアクセスできます

発行 小金井市立図書館  
 編集 小金井市立図書館  
 写真提供 小金井市生涯学習課文化財係  
 小金井市生涯学習課文化財係